



# コーディネーターだより

岡山県立岡山南支援学校  
支援教育係  
平成22年11月19日

季節外れの黄砂には驚きましたが、初冠雪、小春日和、インフルエンザ等、冬らしい言葉が聞かれる季節になってきました。体調を崩さぬよう、お気をつけください。

## 《岡山市、発達障害者支援センター（仮称）について》

新聞やテレビなどでご存知の方も多いと思いますが、岡山市の発達障害者支援センターについて概略をお知らせします。

事業内容として、5点あげられています。

### ①相談支援

本人や家族からの相談  
学校等の関係機関へ専門的立場から助言

### ②発達支援

療育前段階の保護者を対象に、「プレ広場」や「ぽかぽか広場」の実施

### ③就労支援

職業訓練の前段階での作業体験支援等  
関連機関との同行・連携

### ④普及啓発・研修

### ⑤個々への支援の調整会議



開設時期は未定ですが、就学前・就学中・就学後を見通すことができ、また関係する保育、教育、福祉、就労等の担当者が参加するセンターの開設は、岡山市の発達障がいの方やご家族や学校等にとって、大きな力になると思われまます。

## 《「手をつなぐ」と「発達教育」を購入しています》

『手をつなぐ』（全日本手をつなぐ育成会）と『発達教育』（発達協会）を定期購読しています。

保護者控室の本棚に置いてありますので、来校時にぜひご覧になってください。

持ってかえって読まれる場合は、貸し出し簿にご記入ください。

『発達教育』10月号で「伝わりにくい言葉とその教え方」について特集していましたので、概略をお伝えします。

「これ、それ、あっち」→具体的に示す

「ちゃんとしなさい」→具体的な言葉で言い直す

「きれいに、きちんと」→きれいに片付いている写真等を繰り返し見せる

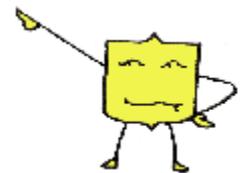
「自分で決めて」→分かりやすい言葉で何通りかの方法を示す

「宿題をしたらゲームをしてね」→分かりにくい時は順番に提示する

「もし…」→理解にはかなりの工夫が必要で、まず、「～したら」が理解できることが必要

子どもたちと話す時に気をつけているのですが、どう話せば一番伝わりやすいかな、ああ言えば良かったかな、と考えることもしばしばあります。

とても参考になった特集でした





## 地域の動き

### 総社市では

- 相談支援センター「ゆうゆう」が開設されました。**日常生活に関する相談、福祉サービスに関する情報提供を行っています。総社市役所の隣、総社市総合福祉センターにあります。  
**相談支援専門員は天野豊、相談支援員：山田新二です。**
- 「サポートブック「よろしくね」」モニター版が完成。半年試行し、モニターの声から、改善し、本格的な実施をする予定です。実物は、支援部掲示板の横の棚にあります。

### 岡山市では

幼稚園にも、特別支援教育コーディネーターが指名されるようになりました。4月23日コーディネーター研修会がありました。岡山市では、年々コーディネーター研修が充実し、ケース会や保護者まじえたケース会など、活発に開かれています。



## 本校では

- 問い合わせ** 3件 自立活動の手引きについて（特別支援学校）、視覚支援について（特別支援学校）、通常学級登校しぶりの子どもの相談場所は？（保護者）
- 巡回相談** 1園 岡山私立幼稚園5／22（金）

### 本の紹介「子ども虐待という第四の発達障害」



あいち小児保健医療総合センター 杉山登志郎先生

「子どもに身体的、心理的、性的加害を加え続けると、反応性愛着障害を起こし、結果として、高機能広汎性発達障害や注意欠陥多動性障害によく似た臨床像を呈する。」

#### 【参考図書】

- ・『子ども虐待という第四の発達障害』 杉山登志郎 2007年 学研
- ・『子を愛せない母 母を拒否する子』 ヘネシー・澄子 2004年 学研

2冊とも、石川の机の上にあります。関心のある方は読んでみて下さい。